



令和5年10月13日

国土交通省関東地方整備局道路部

東日本高速道路株式会社関東支社

圏央道（千葉県区間）休憩施設調整会議（第4回）の開催結果について

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）千葉県区間における休憩施設の現在の進捗状況等について、国土交通省、千葉県及び東日本高速道路株式会社で情報共有を図るため、圏央道（千葉県区間）休憩施設調整会議（第4回）を開催しましたので、開催結果をお知らせします。

開催日時：令和5年10月13日（金）14時30分から15時30分

会議形式：Web会議

構成機関：国土交通省 関東地方整備局 道路部 計画調整課

千葉国道事務所

常総国道事務所

千葉県 県土整備部 道路計画課

東日本高速道路株式会社 関東支社 建設事業部 建設事業統括課

千葉工事事務所

つくば工事事務所

議事概要：別添のとおり

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 千葉県政記者会

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局 道路部 計画調整課

電話：048-601-3151（代表）

課長 小野寺 純一（おのでら じゅんいち） 課長補佐 宮沢 大輝（みやざわ ひろき）

東日本高速道路株式会社 関東支社 広報課（平日 9:00～17:00）

電話：048-631-0222

圏央道（千葉県区間）休憩施設調整会議（第4回）
開催結果概要

令和5年10月13日（金）

〈議事要旨〉

国土交通省関東地方整備局、千葉県及び東日本高速道路株式会社関東支社の3者は、今回の調整会議において、以下のとおり意見交換及び確認した。

■神崎PA（仮称）の供用見込みについて

- 用地取得及び重金属の対応で遅延した地盤改良工事が8月上旬に全て契約となり、9月中旬に施工調整及び工程精査が完了。
- 神崎PA（仮称）の内回りは令和7年度、外回りは令和7～8年度の供用を目指す。
- 引き続き関係者連携のもと、早期整備に向け事業を進めるとともに、新たな課題等が発生した場合、速やかに情報共有を図る。

■山武PA（仮称）の進捗状況について

- 現在、測量及び地質調査が完了しており、概略設計を実施中。
- 今後、概略設計が完了する令和5年内を目途に、地元への説明会を開催し、用地取得に向けた境界確認、幅杭設置に着手していく予定。
- 引き続き、圏央道（大栄JCT～松尾横芝IC）の進捗状況も踏まえ、早期供用を目指すとともに、課題等が発生した場合、速やかに情報共有を図る。

以上

圏央道(千葉県区間)



凡例

	4車線以上	} 高規格道路(有料区間)開通済
	2車線	
	高規格道路 事業中	
	4車線	} 圏央道(開通済)
	2車線	
	圏央道(事業中)	

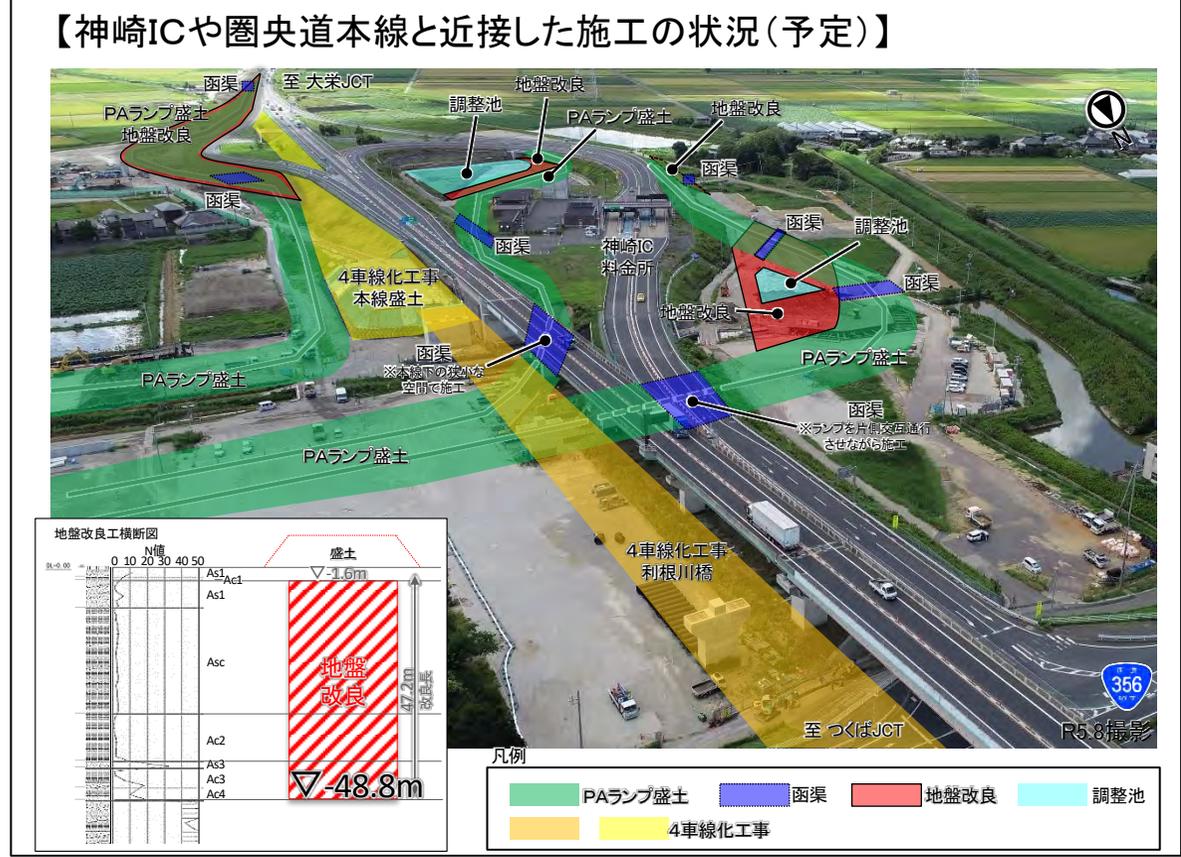
○用地交渉に時間を要したこと、重金属が検出されたことへの対応により工事着手が遅延している状況。
 ○今後、地盤改良や構造物など複数工事が最盛期となり、狭小な施工ヤードにおいて神崎ICの交通を確保しながら安全に実施するために、綿密な施工調整が必要な状況。

課題① 用地取得
 ○用地交渉に時間を要し、用地取得が遅延。

課題② 重金属の対応
 ○重金属が検出され、土対法手続き期間が追加。

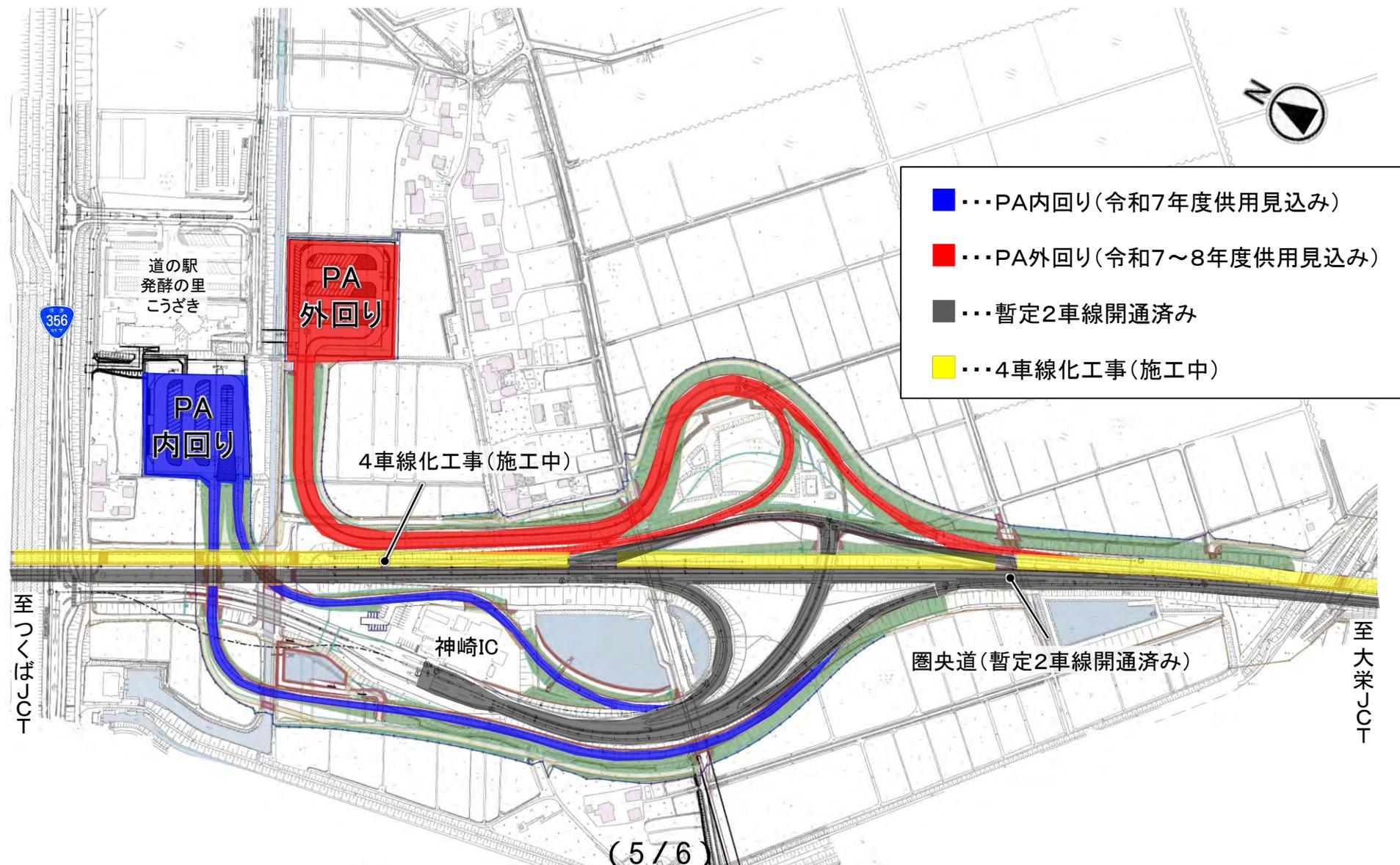


課題③ 今後の施工について
 ○全面的に深さ50mの地盤改良や函渠などの施工が必要。
 ○狭小な施工ヤードにおいて神崎ICの交通を確保しながら安全に実施するために、綿密な施工調整が必要。



⇒用地取得及び重金属の対応で遅延した地盤改良工事が8月上旬に全て契約となり、9月中旬に施工調整及び工程精査が完了。
 (4 / 6)

○神崎PA（仮称）の内回りは令和7年度、外回りは令和7～8年度の供用を目指す。





■現在の状況

- 令和4年度より、測量及び地質調査に着手。
- 現在、測量及び地質調査が完了しており、概略設計を実施中。

■今後の予定

- 概略設計が完了する令和5年内を目途に、地元への説明会を開催し、用地取得に向けた境界確認、幅杭設置に着手。
- 圏央道（大栄JCT～松尾横芝IC）の進捗状況も踏まえ、早期供用を目指し、用地取得及び工事を推進していく。